

# 2020年3月期 第2四半期決算補足資料

2019年10月31日  
住友理工株式会社

## 1. 連結経営成績〔IFRS〕(2019年4月1日～2019年9月30日)

### ① 連結損益計算書

(単位: 億円)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	2,314	2,293	-21	-0.9%
事業利益*	45	52	+8	+17.1%
その他の収益・費用	△2	△2	+0	-
営業利益	42	50	+8	+19.0%
金融収支	△2	△6	-4	-
税引前四半期利益	40	45	+4	+10.9%
法人所得税費用	△20	△40	-21	-
四半期利益	21	5	-16	-77.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	11	△3	-14	-
非支配持分	10	8	-2	-

\* 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を含めて算出しております。

### ② 事業セグメント別業績

(単位: 億円)

		2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	自動車用品	1,959	1,952	-7	-0.4%
	一般産業用品	355	341	-14	-3.8%
	連結計	2,314	2,293	-21	-0.9%
事業利益	自動車用品	37	46	+9	+24.3%
	一般産業用品	7	6	-1	-19.5%
	連結計	45	52	+8	+17.1%

### ③ 所在地セグメント別業績

(単位: 億円)

		2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
売上高	日本	1,050	1,066	+15	+1.5%
	米州	520	519	-1	-0.2%
	アジア	722	708	-14	-1.9%
	欧州その他	296	274	-21	-7.2%
	消去又は全社	△274	△274	-1	-
	連結計	2,314	2,293	-21	-0.9%
事業利益	日本	△12	6	+18	-
	米州	4	△5	-8	-
	アジア	63	58	-6	-9.2%
	欧州その他	△6	△2	+3	-
	消去又は全社	△5	△4	+1	-
	連結計	45	52	+8	+17.1%

(注) 各セグメントには、セグメント間取引消去前の数値を表示しております。

### ④ 為替レート(期中平均)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
円/米ドル	110.28	108.63	-1.65	-1.5%
円/ユーロ	129.85	121.42	-8.43	-6.5%
円/人民元	16.75	15.68	-1.07	-6.4%
円/タイバーツ	3.40	3.49	+0.09	+2.6%
円/メキシコペソ	5.76	5.64	-0.12	-2.1%
円/ブラジルレアル	29.30	27.55	-1.75	-6.0%

(注) 金額や増減率等の数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

## 2. 業績の概要

### (1) 売上高

2,293億円 (前年同期比0.9%減)

#### <事業セグメント別概況>

#### ① 自動車用品 1,952億円 (前年同期比0.4%減)

- ・販売数量は増加したものの、対人民元、ユーロ中心に円高が進行したことによる為替換算のマイナス影響により、セグメント全体では減収
- ・日本では、自動車生産台数増加を背景に増収
- ・米国では、顧客の新車種立ち上げにより増収となった一方、メキシコでは、乗用車輸出減少による自動車生産減少などが響き、減収
- ・中国では新排ガス基準「国6」対応ホースの販売増加が寄与し、現地通貨ベースでは増収。一方、タイは外需減少、インドは金融機関貸し渋りにより自動車生産が減少したため、減収

#### ② 一般産業用品 341億円 (前年同期比3.8%減)

- ・プリンター向け機能部品は、プリンター市場縮小の影響により減収
- ・高圧ホースは、中国での建設・土木機械向け需要の減少のため減収

### (2) 事業利益

52億円 (前年同期比17.1%増)

#### <事業セグメント別概況>

#### ① 自動車用品 46億円 (前年同期比24.3%増)

- ・日本は、販売数量増加に加え、経費圧縮や原価低減を進めたことにより、増益
- ・米国は、人手不足を背景とした生産性低迷や、その対策のための費用増加により減益
- ・「国6」対応ホースの販売増加により中国が増益、タイやインドは販売数量減少のため減益

#### ② 一般産業用品 6億円 (前年同期比19.5%減)

- ・プリンター向け機能部品や高圧ホースの販売減少のため、減益

### (3) 法人所得税費用

△40億円 (前年同期は△20億円)

- ・エリア別経営管理体制の構築のため、当社が保有する一部の子会社株式を地域管理子会社に売却したことや、税引前利益の増加により、法人所得税費用が増加

## 3. 連結業績予想

2020年3月期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	100	80	70	40	20	19.26
今回予想修正 (B)	4,500	100	80	70	20	5	4.82
増減額 (B-A)	-200	-	-	-	-20	-15	-
前期実績 (2019年3月期)	4,697	94	12	7	△29	△50	△48.37

- ・売上高は、円高や、下期の世界景気減速による自動車、建設機械の需要低迷を見込み、下方修正
- ・事業利益は、販売数量下振れや米国生産性低迷を経費圧縮や原価低減で補い、予想据え置き
- ・エリア別経営管理体制構築に伴う法人所得税費用の増加により、当期利益を下方修正
- ・前期比では、景気減速の影響で減収を見込むものの、収益性改善の取り組みにより増益を計画